

令和2年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立起小学校	学校NO.	3 3
<p>1 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標 高齢者や障害、病気、けがのある人たちにとって、住み良い社会とはどんな社会なのかを体験活動を通して考え、自分たちができることを調査・追究することができる。 ・ 計画 救命救急法講習 保健シュミレーション研修 ・ 推進体制 校内で障害や重篤な病気やけがのある児童に対しての対応方法を学ぶ。 福祉教育部会を組織し、各学年と調整して計画を具体的に推進する。 			
<p>2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急救命法講習・保健シュミレーション研修 5月28日 重篤な病気やけがの児童に対応するために、全職員でシュミレーション形式で研修会を行った。実際の体験をもとにした対応の仕方を学んだ。やはり、初期の対応が重要であるということで、職員の役割分担の仕方、心臓マッサージやAEDの使用による初期段階の処置の仕方、事故の例別による対応方法などたくさんのことを学んだ。特に重篤な事案の場合については、担架以外に車いすがあるとよいという意見が出たので、本年度、車いすを1台導入した。 			
<p>3 福祉教育の成果と今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年生では、総合的な学習の時間に「福祉」をテーマに学習を進め、多くの児童の意識は高まった。テキストを読むだけでなく、講義を聞いたり、実際に体験したりすることで、これから自分たちは何ができるのか、どのような社会をつかっていくべきなのかを考えることができた。また、地域のお年寄りの方々とかかわりを通して思いやりの心を育てることができた。2学期以降の福祉活動に進んで参加する児童の姿が見られ、成果を上げることができた。 ・ コロナウイルスによる臨時休校の影響で総合的な学習の時間の時数が減少し、5年生でも「福祉」についての学習時間が減少した。時間と情報を有効に活用し、福祉についてより深く理解していけるよう今後も見つめる心と実践力をつけていきたい。 ・ 本校にはてんかんやアレルギーなどにより、対応が必要な児童が複数いる。持病がある児童に対して、適切な対応ができる職員の育成とともに、周りの児童もその障害等をもとに温かい気持ちで日々接することができるようにしていきたい。 			

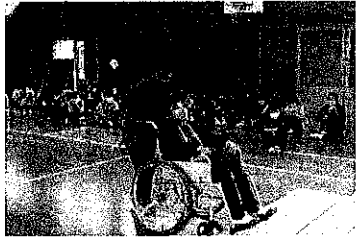


令和 2 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立三条小学校	学校No.	34
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制） 総合的な学習の時間における、福祉に関する学習</p> <p>✿ 11月11日 4年生 総合的な学習の時間</p> <p>【目的】 福祉に関する調べ学習を通して、社会福祉への関心を高めるとともに、「豊かな人間性」や「共に生きる力」を育むこと</p> <p>【活動対象】 4年生</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） 総合的な学習の時間における、福祉に関する学習</p> <p>①図書館での調べ学習 福祉学習への入り口として、図書室で福祉について調べた。</p> <p>②インターネットを活用した調べ学習 図書室で調べた中で、興味を持ったことについて、インターネットを使ってさらに詳しく調べた。</p> <p>③テーマごとにグループに分かれてのまとめ作成 テーマごとにグループに分かれ、調べた内容を壁新聞にまとめた。</p> <p>④壁新聞形式での発表 学年廊下に掲示して、他のグループの児童が学んだ内容を共有した。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>【成果】 本年度の取り組みは、校内での調べ学習と発表であった。児童は意欲をもって調べ、まとめ、発表することができた。知識として福祉について知ることができたと思う。</p> <p>【課題】 例年行っている福祉実践教室や地域のお年寄りと共に行う公園清掃活動も行うことができなかった。そのため、実際の体験を通して学ぶ機会を設けることができなかった。豊かな人間性や共に生きる力を育てるには、やはり体験活動も取り入れる必要がある。「withコロナ」での体験活動を行う方法を模索する必要がある。</p> <div data-bbox="954 566 1444 925"> </div> <div data-bbox="954 936 1444 1294"> </div> <p>今日は、総合的な学習の時間に図書館へいき、「福祉」について調べました。バリアフリーや点字について学ぶことができましたね。次回は、パソコン室で詳しく調べていきます。</p>			

令和 2 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立小信中島小学校	学校N o.	35
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目 標 福祉の町として、住みよい街づくりをするために自分たちにできることは何かを考えさせ、福祉に関する実践力を高める。</p> <p>(2) 計 画 福祉について知る・福祉実践教室の開催・一人暮らし老人の方へ年賀状・養護老人ホームへの見学・体験、総合学習での追究</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>(1) 福祉について知る。 福祉の新聞記事を読んだり、インターネットを使ったりして、地域の福祉の実態や取り組みについて調べるなどした。また、書籍を購入し、調べ学習に生かせるようにした。</p> <p>(2) 福祉実践教室の開催 10月 コロナのため中止。</p> <p>(3) 校区内にある高齢者特別養護老人ホームの見学・体験 11月 コロナのため中止。</p> <p>(4) 一人暮らしの老人の方へ年賀状をおくる 12月 一人暮らしの老人の方々に孫になったつもりで、楽しいイラストや温かな文面で年賀状をかいた。</p> <p>(5) 総合的な学習の時間での追究 福祉の新聞記事、インターネットを使った調べ学習で、疑問に思ったことやもっと調べたいことなどから、テーマを決めた。その後、インターネットや本を使った情報収集、同じテーマをもった子たちとの情報交流などを行い、様々な表現手段を用いてパンフレットを作成し、発表を行った。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>調べ学習等を通して、福祉に対しての理解が深まった。そして、障害のある人の気持ちに気づき、共に生きるために自分ができることを考えようとする児童や地域の福祉施設について関心を持つ児童が増えてきた。</p> <p>今年度は、福祉実践教室や施設見学・体験がコロナのため中止となった。福祉実践教室を通して、障害のある人の気持ちをより深く感じるができると思う。来年度は、方法を工夫しながら福祉実践教室を開催していきたい。</p> <p>今後も「福祉」に対する理解を深める指導を継続していくとともに、生活の中で障害者の方に出会ったとき、学習したことが活かされるようにしていきたい。</p>			

令和 2 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立朝日東小学校	委嘱年度	令和 2 年度					
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【学校教育目標】</p> <p>「もっといい自分」を目指す 心豊かでたくましい朝東の子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いのちを大切に、心と体を鍛え、たくましく生きる子 ○ きまりを守り 人と協力できる子 ○ やさしく 思いやりのある子 </td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">→</td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【福祉教育目標】</p> <p>児童の社会福祉への理解を一層深め、体験活動を積み重ねることができるような行事等を計画し実践する。</p> </td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">→</td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつ運動 ○ 社会福祉体験活動 ○ 地域の講師を招いた体験活動（ダンス・華道） ○ 募金活動 </td> </tr> </table>				<p style="text-align: center;">【学校教育目標】</p> <p>「もっといい自分」を目指す 心豊かでたくましい朝東の子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いのちを大切に、心と体を鍛え、たくましく生きる子 ○ きまりを守り 人と協力できる子 ○ やさしく 思いやりのある子 	→	<p style="text-align: center;">【福祉教育目標】</p> <p>児童の社会福祉への理解を一層深め、体験活動を積み重ねることができるような行事等を計画し実践する。</p>	→	<p style="text-align: center;">【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつ運動 ○ 社会福祉体験活動 ○ 地域の講師を招いた体験活動（ダンス・華道） ○ 募金活動
<p style="text-align: center;">【学校教育目標】</p> <p>「もっといい自分」を目指す 心豊かでたくましい朝東の子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いのちを大切に、心と体を鍛え、たくましく生きる子 ○ きまりを守り 人と協力できる子 ○ やさしく 思いやりのある子 	→	<p style="text-align: center;">【福祉教育目標】</p> <p>児童の社会福祉への理解を一層深め、体験活動を積み重ねることができるような行事等を計画し実践する。</p>	→	<p style="text-align: center;">【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつ運動 ○ 社会福祉体験活動 ○ 地域の講師を招いた体験活動（ダンス・華道） ○ 募金活動 				
<p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応で、地域の方を招いたり、地域へ出かけたりする活動、大勢の人が集まる活動を行うことができなかったが、校内において可能な範囲での活動を行った。</p> <p>【10月23日】</p> <p>5年児童が、総合的な学習の時間で車いす体験を実施した。事前に福祉実践教室テキスト「思い出してごらん」を利用し、ねらいを確認した後、実際の体験を行った。</p> <p>児童らは、車いすの扱い方を学び、実際に乗って操作したり押ししたりした。車いすでは、小さな段差を乗り越えることも難しいこと、介助のしかたによって乗っている人に不安を与える場合があることに気付いた。</p> <p>学習や体験を通して学んだことを、実際の場で生かそうという思いをもった児童が多かった。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p style="text-align: center;">車いすを体験</p> </div> <p>【11月16・17日 赤い羽根の共同募金】</p> <p>児童会役員が校内で募金活動を行った。</p> <p>募金を呼びかけるポスターを作成して全校に周知するとともに、各クラスを回って募金を呼びかけた。</p> <p>事前の周知と各クラスを回って呼びかけたことで、2日間の活動で、多くの児童から協力を得ることができた。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p style="text-align: center;">募金の呼びかけ</p> </div> <p>【2月5日 華道体験】</p> <p>6年生を対象に、地域の講師の方を招いて華道体験を実施した。総合的な学習の一環として、日本の伝統文化を体験する目的で、華道に取り組んだ。</p> <p>講師の方から講話を聞いた後、各教室で華道体験に取り組んだ。児童らは、講師の方の指導を聞きながら、各々の発想で花を生けていった。6年生の児童にとっては貴重な体験となった。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p style="text-align: center;">華道体験</p> </div>								
<p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>今年度は活動に制約があり、思ったような取り組みができなかったが、できる範囲での活動を通して、相手を思いやる心の育成や、地域社会とのつながりを意識させることができた。</p> <p>来年度も、多くの活動に制約が出ると予想されるが、できる限りの福祉実践や地域の方との関わりを通して、児童に相手を思いやる心を育成したり、地域社会の一員としての自覚を高めさせたりしていきたい。</p>								

令和 2 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学校名	一宮市立朝日西小学校	学校番号	37
1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標 : 実践活動を通して、社会福祉への理解と関心を高め、進んで地域社会に奉仕しようとする心を育てる。 ・ 計画 : 福祉実践教室、地域・公共施設の清掃活動、園芸栽培活動 ・ 推進体制 : 福祉教育部会を組織し、計画的に実践する。 			
2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の清掃活動（写真①・②） 本校では、給食後に清掃活動に取り組んでいる。清掃道具を充実させるため、助成金でモップやミニ塵取りとブラシのセットを購入し、体育館や昇降口の清掃に活用している。 ・ 花壇・栽培園の運営（写真③） 校内にある花壇を学年と園芸委員会で分担して花や野菜を栽培し、潤いのある環境作りに努めた。また、教師が草刈機を使って校内の除草を行い、校内環境を整えた。助成金を活用して草刈機で使う混合ガソリンを購入した。 ・ 3年のドンカチ太鼓（写真④） 10月23日、地域の方から郷土芸能であるドンカチ太鼓について学んだ。例年は地域の公民館に出かけて学ぶが、今年は地域の方に来ていただいて体育館で行った。 ・ 学校公開での環境整備（写真⑤） 11月5日から9日までの学校公開に向けた環境整備のため、各教室に置く鉢花を助成金で購入した。コロナ禍のため、地域ごとに3日間に分散して保護者が授業を参観した。 ・ 人権映画鑑賞会（写真⑥） 12月第1週の人権週間に学級ごとに人権に関する映画を鑑賞した。低学年は短編アニメ「ねずみくんのきもち」むしむし村の仲間たち」を見て、思いやりについて考えた。高学年は「ゆるせない ネットいじめ」「聲の形」を見て、いじめについて考えた。 			
3. 福祉教育の成果と今後の課題			
(1) 成果			
<p>清掃道具が充実したこともあり、子どもたちは日々の清掃活動にまじめに取り組むことができた。また、職員による除草や学校公開前の環境整備で、子どもたちが落ち着いて生活できるようにした。学校での取り組みは、コロナ対策をしながら可能な範囲で行うことができた。</p>			
(2) 今後の課題			
<p>今年度はコロナ禍のため、例年行っている下記のような活動ができなかった。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 登校時に通学路のごみを拾う月2回のクリーン作戦 ・ 春の校外学習で行う5年生の介護施設「みなみ」の見学 ・ 4～6年生が行う福祉実践教室 ・ 秋に尾西高校の生徒と一緒に公民館主催の朝日クリーン作戦 			
<p>次年度、介護施設の見学はまだ無理だと思われるが、福祉実践教室は6月16日に実施することになっている。これまで行ってきた活動を、コロナ禍でも実施できるように実施方法を見直して取り組んでいきたい。</p>			

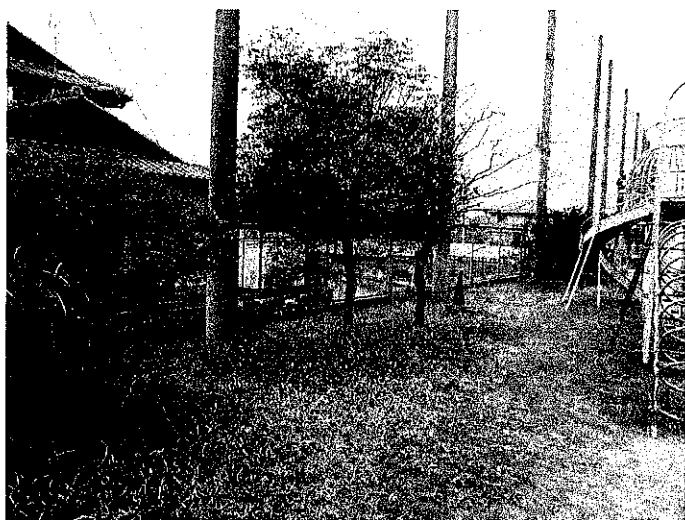
活動の様子



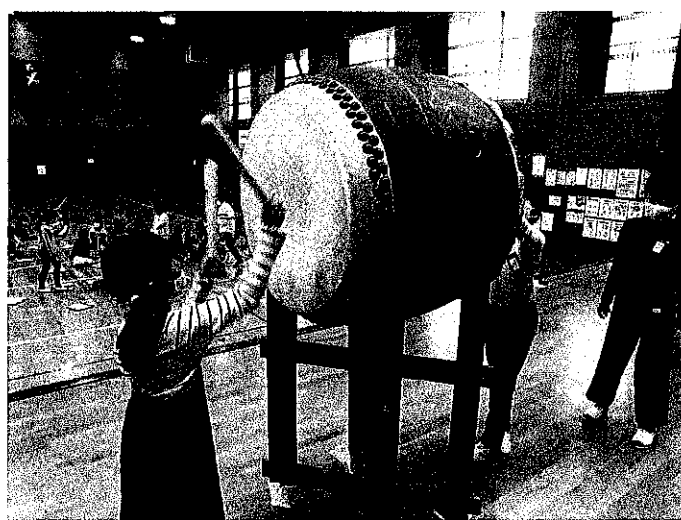
写真①昇降口の掃除



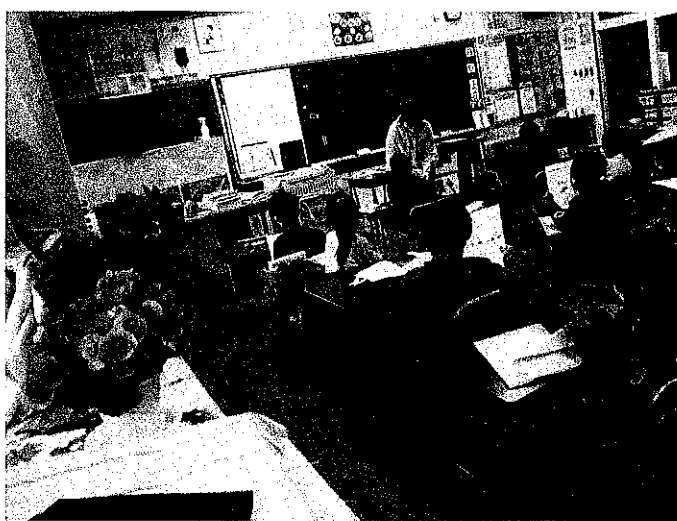
写真②体育館の掃除



写真③職員による除草



写真④3年のドンカチ太鼓



写真⑤学校公開



写真⑥人権映画鑑賞

令和2年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立開明小学校	学校No.	38
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目標 高齢者や障害のある方との交流を通して社会福祉への関心を高め、児童が自分でできることを調査・追究することで、福祉実践力を養う。</p> <p>(2) 計画 ○5年生児童を対象に、福祉実践教室に取り組む。さらに、総合的な学習の時間において、福祉についての学習に取り組む。 ○5・6年生児童を対象に、「開明地区ねたきり老人・ひとりぐらし老人あて愛の年賀状送付事業」に取り組む。 ○1・2年生児童を対象に、「しあわせはこぶ なえやさん」に取り組む。 ○全校で、赤い羽根募金・緑の募金活動に取り組む。</p> <p>(3) 推進体制 該当学年・児童会を中心にして、また、取り組みによっては、PTA・地域の方々とも連携して推進する。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） 今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、福祉実践教室では、5年生児童が、手話・点字の講習、車いす、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者疑似体験の活動を行う計画であったが、中止となった。総合的な学習の時間において、自分の設定した学習課題を調査・追究する学習を進め、社会福祉への関心を高めることはできた。11月の学校公開日の学習発表会において、保護者・地域の方々の前で、学習したことを発表する予定であったが、学習発表会は実施せず、校内のみでの発表となった。 10月4日（日）に児童会役員児童5名が、近隣のスーパーマーケットで、来店する方々に呼びかけ、赤い羽根共同募金「街頭募金運動」を計画していたが中止となり、校内で募金活動に取り組んだ。 11月中に、5・6年生児童が分担して、相手が喜ぶようにと心をこめて、開明地区の高齢者にあてた年賀状を作成した。取り組みを通して、地域の高齢者の数の多さを知り、改めて福祉への関心を高めていた。新年に返事が届いた児童は、大いに感激していた。 例年、4月入学・進級早々、1・2年生児童は生活科の授業で花や野菜の種をまいて苗を育てている。6月6日（土）の学校公開日の「しあわせはこぶ なえやさん」で、保護者・地域の方々に育ててきた苗を購入してもらう予定であったが、4月5月の臨時休校により実施できなかった。地域の方々の幸せを願い、その売り上げを社会福祉協議会に寄付する予定であったが、たいへん残念であった。 12月4日（水）からは、卒業する6年生に感謝の心を込めて、「感謝の気持ちを伝えよう 一人一鉢運動」に取り組んでいる。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題 それぞれの取り組みの意義をおさえての指導により、児童の福祉への意識は高まり、理解が深まっている。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、様々な活動が実施できないことが多かったが、今後も、取り組みの一層の充実を図っていく。さらに、日常生活の中でも、相手を思いやる心をもとにした、よりよい人間関係づくりを進めさせていきたい。</p>			

令和 2 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立大徳小学校	学校 N o .	3 9
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目標 高齢者や障害のある方との交流活動やふれあいの機会を通して社会福祉への関心を高め、児童が自分でできることを調査・追究することで、福祉実践力を養う。</p> <p>(2) 計画 ○全校で、緑の募金活動に取り組む。 ○4年生児童を対象に、「福祉実践教室」に取り組む。あわせて、1学期の総合的な学習の時間において、福祉についての学習を進める。 ○2～6年生の児童を対象に、大徳・朝日支会のそれぞれの「愛の年賀状送付事業」に取り組む。 ○3・4年生児童を主体として、「一人一鉢運動」に取り組む。</p> <p>(3) 推進体制 該当学年・運営委員会・福祉環境委員会を中心にして、また、取り組みによっては、PTA・地域の方々とも連携して推進する。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>11月中に、2～6年生の児童が学級ごとに分担して、相手が喜ぶようにと心をこめて、大徳・朝日地区の高齢者にあてた年賀状を392枚作成した。取り組みを通して、地域の高齢者の数の多さを知り、改めて福祉への関心を高めていた。新年に返事が届いた児童は、大いに感激していた。</p> <p>11月から3月にわたり、3・4年生の児童を主体として「一人一鉢運動」に取り組んだ。成長したパンジーの鉢植えは、卒業式の会場を彩った。卒業式には在校生は参加しなかったため、在校生の思いが厚く込められたものとなった。今後、4月の入学式の会場を彩る。</p> <p>例年、10月の大徳連区市民体育祭で、福祉環境委員の児童が「街頭募金運動」に取り組むが、本年度は校内の募金運動に変更した</p> <p>例年、2月に計画している「感謝の会」を中止し、米づくりボランティア・登下校の見守り隊の方々を招くことはできなかったが、児童は日ごろの感謝の気持ちを表したメッセージカードを作成した。メッセージカードをお読みいただいたことで、児童の気持ちが伝わった。</p> <p>4年生の児童が「福祉実践教室」を受講できず、たいへん残念である。今後、実施できないものかと考えている。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>それぞれの取り組みの意義をおさえての指導により、児童の福祉への意識は高まり、理解が深まった。次年度でも、取り組みの一層の充実を図っていく。さらに、日常生活の中でも、相手を思いやる「やさしい心」をもとにした、よりよい人間関係づくりを進めさせていきたい。</p>			

令和2年度 一宮社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立黒田小学校	委嘱年度	令和2年度
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>（1）目標「人の気持ちを理解し、思いやりを大切にする子の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 科…自分の考えをもち、相手の気持ちや立場を理解できる力を育てる指導法の研究 ・道 徳…他の人との関わりに関することに重点を置いた道徳や命の教育の授業の工夫 ・特別活動…心のふれあいを大切にした福祉体験活動 <p>（2）計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習での福祉学習（通年…5年生） ・福祉実践教室の実施—————（7月…5年生） ・黒田小サロンでのふれあい活動（通年…1・2年生） ・人権週間の取り組み（12月…全学年） <p>（3）推進体制 人権・福祉係を中心に企画し、運営は全職員で実施する。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>（1）総合的な学習での福祉体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 総合的な学習の時間（5年生） ・実施内容 社会福祉についての調べ学習や手話の練習など <p>（2）福祉実践教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症防止のため、実施せず <p>（3）黒田小サロンでのふれあい活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 毎月第3火曜日の午前中（新型コロナウイルス感染症防止のため、実施せず） ・実施内容 フルートミニコンサート・民謡・いきいき体操など <p>（4）人権週間の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 12月4日～12月10日 ・実施内容 校長による人権に関する講話、担任による道徳/各教科での授業、啓発活動重点目標の告示 <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>5年生は、社会福祉についての調べ学習を中心に理解を深めた。また、4年次の国語で学習した手話などを踏まえ、自分たちにできることを考えることができた。</p> <p>今後は、さまざまな人たちに向けて、さらに心のふれあいが広がるような活動を考えていきたい。</p>			

令和2年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立木曾川西小学校	委嘱年度	令和2年度
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害のある人との交流を通して、相手を尊重し思いやる心を育てる。 ・社会福祉について理解・関心を深め、福祉実践力を養う。 <p>(2) 計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊へのお礼の会（1年生） ・敬老のはがき作成（5・6年） ・認知症サポーター養成講座（5年） ・福祉実践教室（5年） ・田植え、稲刈り、おにぎりパーティー（5年） ・募金活動（児童会） <p>(3) 推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間、道徳、学級活動において全職員で実施する。 ・児童会活動を通し、全校体制で取り組む。 <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>○あいさつ運動（6，2月）</p> <p>生活委員会が中心となって、あいさつを呼びかけた。2月には、登下校の見守りをしてくださっている保護者や地域の方へあいさつすることを特に呼びかけた。</p> <p>○地域の高齢者施設についての調べ学習（9，10月）</p> <p>3年生が総合的な学習で地域の高齢者施設について調べ、新聞にまとめた。今年度は訪問はできなかったため、本やインターネットで調べた。</p> <p>○赤い羽根の募金活動（11月）</p> <p>児童会役員が、募金への協力の呼びかけを行い、全校児童で募金活動に取り組んだ。</p> <p>○人権週間での取り組み（12月）</p> <p>人権週間に全校児童が校長講話を聞いた。また児童会が呼びかけを行った。学級でも、ビデオ視聴を行ったり、道徳の授業を通して人権を守る取り組みを行ったりした。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>今年度は、感染症対策ということで計画されていたものが実施できないという現実があった。中でも、児童会中心に募金活動を行ったり、zoomを利用して代表委員会が人権を守ることの大切さを訴えたりと可能な方法で取り組んだ。</p> <p>今後、このような状況下でも可能な体験活動を行い、それらの活動で学んだことを、家庭や地域で実践できるように、児童の意識を高めていけたらと考える。</p>			

令和2年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	木曽川東小学校	委嘱年度	令和 2 年度
<p>1 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 本校の福祉教育の目標</p> <p>① 福祉に対する理解と関心を高め、進んで人や社会に関わろうとする意識を高める。</p> <p>② だれに対しても優しく、思いやりのある態度で接し、自他ともに生命を尊重しようとする意識を高める。</p> <p>(2) 実践方法</p> <p>① 総合的な学習の時間や、道徳、学級活動、各教科との結びつきを考慮する。</p> <p>② 体験的な学習を取り入れる。</p> <p>(3) 計画</p> <p>・福祉実践教室 ・福祉についての調べ学習 ・募金活動</p> <p>・ペットボトルキャップ回収活動 ・使用済み切手回収活動 ・書き損じハガキ回収活動</p> <p>2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>【福祉についての調べ学習】5年生</p> <p>国語の授業で、「みんなが過ごしやすい町へ」という単元を学習した。誰もが幸せに暮らすためには、どんなものやどんなことが必要なかを考え、図書館の本を使って調べた。調べたことを個々にマルチペーパーに書いた。まとめた内容をクラスで発表をし、全体でも共有をした。また、ケント紙を用いて、クラスごとにまとめ学習を行った。</p> <p>【ペットボトルキャップ回収活動】全校</p> <p>環境・美化委員会が中心となって全校児童にポスターで呼びかけを行い、1年を通して回収活動を行った。</p> <p>【募金活動・使用済み切手回収運動】全校</p> <p>募金は児童会がポスターを作って呼びかけ、使用済み切手と書き損じハガキ回収はPTAと協力して、全校で取り組んだ。</p> <p>3 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で体験的な学習を行うことができなかった。その変わり、授業と関連付けて、福祉についての学習を行った。児童が調べ、まとめることで意欲をもって取り組んだ様子がかがえた。全校で取り組んでいるペットボトルのキャップ及び使用済み切手と書き損じハガキ回収活動では、PTAと協力し、自分たちの手で世界の恵まれない子を救済するという意識をもつことができた。</p> <p>今後も、福祉に対する理解を深め、日々の生活の中で誰に対しても、優しく、思いやりをもって接する態度が育まれるよう支援していきたい。さらには道徳、学級活動、各教科にも積極的に福祉に関わる学習を取り入れていきたい。</p>			